

広報伊方町

発行所 伊方町
 豊後国高津郡伊方町湊浦
 〒736-03 伊方局38-0211
 編集長 室公
 印刷所 豊前社
 八幡浜市松柏 22-0144



笑顔が溢れるお祭り会場

健康と福祉のつどい'92

— 町民会館大ホールで —



八代英太先生の特別講演

人がいて

- 夢がわき
- 流れが変わり
- 新しい町が
- つくられる

今月の紙面

- 二面……本町における農業・農村整備
全国身障者スポーツ大会で中野さんが金銀
募集(臨時女子職員)
- 三面……原子力の作文コンクール
最優秀に菊池君(伊方中)
- 四面……戸籍手数料がアップ
来年1月1日から

「高齢者と障害者にやさしい町づくり」をテーマに、10月25日、町民会館で「健康と福祉のつどい'92」が開催され、子供からお年寄りまで、約700人が集まりました。

我が国は、諸外国に例を見ない早さで高齢化が進み、4人に1人が65歳以上という「超高齢化社会」が目前にせまっています。

本町においても、65歳以上の人口は、今年の10月末現在で20パーセントを超えている現状です。こういった高齢化社会への対応は、保健・医療・福祉など、あらゆる分野で、その取り組みが実施されていますが、この高齢化の問題については、町民一人ひとりが、自らの問題として取り組んでいくことが、一番大切なことです。

また、高齢化の問題については、障害福祉の推進にも関係することあわせて、今年には、国際障害者10周年という記念の年にあたることから、老いても、障害を持っていても、安心して暮らせるやさしい町をつくるために、町民総参加を働きかけて開催しました。

この日、9時半から行われたつどいには、朝早くから、約700人が参加、メイン会場となった町民会館4階大ホールは、1階客席がすぐに満杯、2階客席も解放するという盛況ぶりでした。

国民健康保険健康老人や健康優良高齢者の表彰、社会福祉事業功労者に対して感謝状の贈呈、「こんな老いを迎えない

い」をテーマとしたシンポジウムが開かれ、老人ホームやデイケアセンターなどの勤務経験を持ち、老人福祉問題に非常に熱心で、現在、昭カタリナ女子大学社会福祉学部助教授の永和良之助先生をコーディネーターとして、家庭内における寄りや障害をもっている方、家庭介護を熱心に行っている二宮寿賀子さん(中之浜)、大澤昭子さん(奥)、上田照美さん(二見)により話し合いの場がもたれました。現在町で建設をすすめているテイ・サービセンターに対する意見や、家庭介護のあり方などについて、ユモアをまじえながら、実践報告や提言がありました。

この後、松本陽子先生の指導により健康体操が行われ、参加者全員が軽快なリズムに合わせて、体を動かし、健康体操を楽しみました。

特別講演

行われる

最後に、「福祉のころ」と呼ぶ「つどい」と題して、参議院議員の八代英太先生の特別講演が行われました。八代先生は、「心という財産を家族の中から育てよう。どんなに時代が変わろうと、どんなに世界が変わろうと、人の心は、変わらない。どんなに障害を持って

大勢の人で賑わった健康相談コーナー



上田さん(河内)らを表彰

この日、表彰された皆さんは、次のとおりです。(敬称略)

◎国民健康保険健康老人
 上田多丸(河内)、藤堂ノブヲ(湊浦)、竹嶋トキコ(川水田)、中田磯太(豊之浦)、渡辺ミサコ(豊之浦)、山田マサエ(豊之浦)

◎健康優良高齢者
 山下庄松(大浜)、中田平男(中之浜)、岡山晋太郎(仁田之浜)、松岡マツコ(湊浦)、渡辺寛(小中浦)、山本キクラ(亀浦)、増原順光(中浦)、畑中タマエ(川水田)、高石金藏(豊之浦)、渡辺コナミ(奥)、堀内コメヨ(向)、廣野キクエ(須賀)、松田恒敏(久保)、松田フジ子(西)、岩井只介(二見)、二宮太丸(加間)、山下伊勢善(田之浦)、井樫ハマヨ(古屋敷)、藤岡権吉(大成)、鳥津清士(鳥津)

◎社会福祉事業功労者
 亀井義雄(仁田之浜)、上野進(河内)、山本セツコ(河内)、二宮定正(湊浦)、林大介(湊浦)、渡辺肇雄(仁田之浜)、城岡英夫(奥)、南子歌詠同好会(団体)

◎献血事業推進協力者
 伊方ライオンズクラブ
 伊方町赤十字奉仕団
 四国電力株式会社



家庭介護実践者によるシンポジウム

民話と伝説

取材先/河内 補作/岡村 豊
挿絵/山本一路(漢浦出身)

「原子力の日」作文コンクール

最優秀に菊池君(伊方中)

「原子力の日」は第29回の「原子力の日」でした。
日本原子力文化振興財団では、「原子力の日」を記念して、「地球へのメッセージ」エネルギーと環境についてと、「私たちの暮らしとエネルギー」原子力」と題して作文募集を行いました。
この作文募集は、毎年、中学生、高校生を対象に行われていたもので、今年は、昨年より約3千冊多い1万1287冊(中学生1万244冊、高校生1043冊)の応募があり、その中から、中学生部門で、伊方中学校2年生の菊池伯明君(大浜)の作品が、最優秀に輝きました。

副賞に韓国之旅

最優秀作品に選ばれた菊池君は、約1週間の予定で、日本原子力文化振興財団による韓国旅行のプレゼントがあります。



菊池伯明君 (伊方中学校)

「酸性雨とエネルギー問題」

伊方中二年菊池伯明

六月十四日曜日、雨予報どおりである。洗面器を片手に僕は、外に出た。降り続く雨の中に洗面器を置き、雨を集め始めた。何十分ぐらいたった頃だろうか、雨は洗面器に三センチくらい溜まった。この時を待ち、僕は雨を入れ洗面器に、ふたをした。こ

右にふると、うすい水色に変色した。このうすい水色というのには、pH4.5の酸性雨のpHがわかった。僕は、だれかの口から聞いた言葉、それは本当に驚きの感じを表していた。
「この雨も酸性雨になって

ない。この二つに共通しているのは、石油というエネルギー源である。石油というエネルギーを使い過ぎたために、酸性雨が降りはじめたといえるのではないだろうか。だとしたら、この石油に変わるエネルギーを、人間は探さねばならない。酸性雨問題もただけではなく、石油自体も残り少なくなっているから、石油にたよりすぎているから、人間は大きな反省材料として、酸性雨を考えていくべきなのだ。
僕たちの町には、原子力発電所がある。原子力というエネルギーは、安全に気をつけて使っていれば、環境への害はほとんどない。酸性雨という深刻な問題とも結びつかない。しかし一方で、使い終えた核燃料の処理問題や、安全性の問題など、考えていかな

怖い惚れた「女郎神様」

河内

もう古い昔の話よ。「あのう、村では大ことが起こったがよ」「大ごと?何?とがいらがならら?」
昔々、村の男がよへ行った折に、酒がてつたてか女郎買に行つたさうな。たびたび女郎屋通ひしたのだらう、そのうちに好きな女と恋仲となり、心ならずも結婚しようと言つてその女をだましたさうなわい。
何日かたつて、男は村に帰るようになったが、なんば言葉なくみにくいぬけしても、女は男がいった言葉を信じようつて来たがじやいわい。
男は、家には妻や子が掃り、左手をはなしても右手が残つて、どうしても船はたか



だを何べんも何べんも海へ押しもどしたといひますわい。それでも、なお女は執念深く船ばたにしがみついたので、男はまた、非情にもその手をひきもこうとしたが、船ばたから女の手がはなれな、右手をはなしても左手が残り、左手をはなしても右手が残つて、どうしても船はたか

いうのが、四台を中心とした状態、ひどいときには四二などにはねあがるといふのだ。この数値には、本当に驚かされた。その後、酸性雨の本を手にした、外国の湖の写真があった。僕は、ぞっとするものがあった。
一人になったとき、ときどきこういつたことについて考える時がある。酸性雨の原因はなんだろうか。なぜこうなつてしまつたのだろうか。自分の頭の中で大きくうずをまく。火力発電で、石油を燃やした後に生じる煙が雲となり、死の雨となる酸性雨を降らしているのかもしれない。工場などがだす煙が酸性雨を降らしているのかもしれない。
生き霊は、女が男を怨んで取り憑いたんよ。生き霊といふのは、生きてる人間の怨念で、生きた人間に祟りをするといわれるもので、どこまでも女の怨念はこわいのだ。
この詞は、河内の里田に今もありますわい。昔は、お年寄りの方が、よくお詣りに来たつたさうですが、今は、すっかり忘れられ、祭る人もなし、お詣りする人もありませんわい。
道の上手の「くえつ」とから登つて行く祠がありまして、人は「女郎神様」といひますわい。また、祠の近くを通ると、柳子が出るいうて、嫌いよましと。こは、もとの屋敷跡とか。
今ではミカン畑になつており、その畑の隅にひっそりと石路の花が見え隠れしとりますわい。
協力者:佐竹春敏氏(河内)

発電所周辺では 小・中学生の写生大会も

11月1日、「原子力の日」を記念して、伊方原子力広報センター主催により、小中学生を対象とした写生大会などが行われました。
当日は、朝早くから大雨が降り続く悪コンディションとなりましたが、小学生を中心として、保育所の園児らも数人参加。昨年は、町内の小中学生を対象に実施していましたが、今年は、保内町や瀬戸町などからも参加、約100名が写生大会を楽しみました。
当日は、朝早くから大雨が降り続く悪コンディションとなりましたが、小学生を中心として、保育所の園児らも数人参加。昨年は、町内の小中学生を対象に実施していましたが、今年は、保内町や瀬戸町などからも参加、約100名が写生大会を楽しみました。
当日は、朝早くから大雨が降り続く悪コンディションとなりましたが、小学生を中心として、保育所の園児らも数人参加。昨年は、町内の小中学生を対象に実施していましたが、今年は、保内町や瀬戸町などからも参加、約100名が写生大会を楽しみました。



発電所。ここに火のいのちが

12/4~12/10

人権週間

国際社会にふさわしい
人権意識を育てよう!

毎年、12月4日から10日までの上週間は人権週間です。人権週間は、国民一人ひとりが「人権」というものを再認識し、また、自己の行為によつて他人の人権を侵してはいないか反省してみる週間でもあります。

- 1、国際化時代にふさわしい人権意識を育てよう。
- 2、いじめ、体罰の根を絶とう。
- 3、部落差別をなくせよう。
- 4、女性の地位を高めよう。
- 5、障害者の完全参加と平等を実現しよう。

国民年金の手続き忘れずに
20歳になったら是非加入

差別、いやがらせ、家庭問題、近所とのもめごと、子供らのおいじめ、体罰の問題などでお困りの方は、お近くの人権擁護委員が法務局またはその支部へ御相談ください。相談は無料と秘密は固く守られます。

今、日本は世界に例をみない早くて高齢化が進んでいます。国民年金は、20歳から60歳になるまでのみんなが加入して保険料を負担し、お年寄りの世代の生活を守る「世代と世代の助け合い」の仕組みです。あなたの納める保険料は、お年寄りの年金にあてられるだけでなく、将来のあなたの身の年金を保障します。正しい届け出で、保険料を納めることによって、初めて年金が受けられるのです。豊かな老後生活にたくてはならない国民年金、是非加入して、あなた自身の老後に備えましょう。



第三号被保険者の
手続きについて
サラリーマンのご主人に扶

- 鳥根原出雲市医大南町3-4-16にお住まいの清家立身さん(亀浦出身)から1万円
福岡県福岡市早良区昭代1丁目18-29にお住まいの西本金次郎さん(中浦出身)から1万円
大阪府枚方市牧野北町5-4-201にお住まいの青山藤秋さん(中浦出身)から2万円
大阪府大阪市東区中宮3丁目16-12号にお住まいの田村一幸さん(畑出身)から1万円
大阪府枚方市牧野北町5-4-201にお住まいの青山藤秋さん(中浦出身)から2万円

歳時記
ボーナス

今年のボーナスは、「木枯らしボーナス。など」といわれています。景気を反映して、あまりパットしないようです。いずれにしても、サラリーマンの年末の楽しみはボーナス。ラテン語で、「よいもの。という意味だそうです。

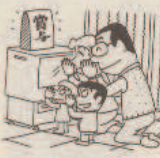
ボーナスは、年末と6月ごろの2回支給されるころがほとんどです。これは日本独特の風習で、盆と暮れの物入りのときに合わせて、支給したのが始まりのようです。

一口にボーナスといっても、ボーナスを出す側と受け取る側とは、多少考え方が違うようです。

出す側にとっては、業績への貢献に対する功労報奨的なものであり、また企業業績の成果の配分としての「賞与」です。ところが、受け取る側としては、生活費の一部としての当然の給与である「期末手当」「年末手当」というわけです。

ところで、最近ではもう一つ別のボーナスという言葉が耳にします。ボーナス制度といって、市街地に建物を建てるとき、一定面積の空き地を確保すると、容積制限や高さ制限が緩和(ボーナス)されるというものです。

それはさておき、年末年始はボーナスが出るなどして経済が活発になるとともに、事故や事件が多発します。そこで、警察庁では12月中旬から1月中旬特別警戒を要します。家内をやいまい楽しんでいる間に、事故や事件に巻き込まれるなど、年末年始は特に注意しましょう。



- 神奈川県横浜市金沢区富岡東2-18-1-303にお住まいの大澤康孝さん(奥出身)から1万円
広報編集費用にご寄附いただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

町内の交通事故

(11月1日現在)	86件
発生件数	(10月) 10件
(11月) 26人	負傷者数
(10月) 4人	

ミカンの収穫、まっさかり。一歩、ミカン山へ足を踏み込むとそこには、日常みられないあわただしさが目にとびこんできます。道路は、ミカンを満ちこみ、トラックなどがいっぱい。町民の皆さん、お互いでも多くの命を救うため、お互いが助け合い、交通安全に心がけてください。

伊方・町見駐在所

人の動き

7,839人 (男3,822人(-5人) (-8人) 女4,017人(-3人))

えんむすび

平成4年9月1日
9月30日
氏名 本籍地

おくやみ

平成4年9月1日
9月30日
死亡者 年齢 住所

戸籍手数料がアップ

来年1月1日から
〇戸籍 400円
〇除籍 700円

戸籍の謄本や抄本などの交付をうける場合の手数料は、国の法律で決められています。このほど、法務省では、昭和58年から引き上げられていた戸籍手数料を、平成5年1月1日から、次のように改

戸籍手数料料表

申請内容	現行	改正
戸籍(謄本・抄本) 1通につき	300円	400円
除籍(謄本・抄本) 1通につき	500円	700円
記載事項証明		
戸籍……証明事項1件につき	200円	300円
除籍……証明事項1件につき	300円	400円
届書等の受理証明書		
1通につき	200円	300円
省令様式による上質用紙を用いるもの		
1通につき	1000円	1300円
届書等の閲覧		
書類1件につき	200円	300円

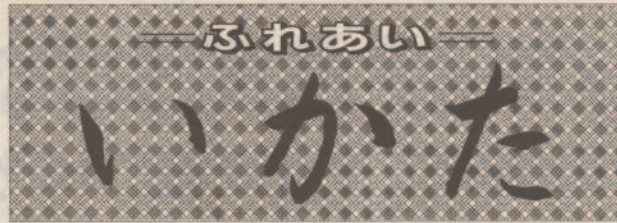


このようになります。

お誕生おめでとう
よい子に育ってください
平成4年9月1日
9月30日
保護者 続柄 児名

よりよい社会を願って

- 明るいあいさつをしよう
- 時間を守ろう
- 町を美しくしよう



教育だより

【発行】
伊方町教育委員会
【編集】
社会教育課
【印刷】
豊豫社

同和問題の 早期解決を目指し 町同和教育研究大会開く

「本町における同和教育の研究と実践の課題を出し合い、同和問題の解決実現にむかつて地域ぐるみで取り組むにはどうすればよいか。」を研究主題に十一月七日、中央公民館において、伊方町同和教育研究大会が開催された。午前中には、シンポジウムが行われ、学校教育、社会教育、地域（自治公民館）の立場からそれぞれ提言があり、研究協議が行われました。又、午後からは、中学生による人権作文の発表や県教育委員会、同和教育課長の岡省吾先生を迎えて講演会が行われました。



シンポジウムで
同和問題の認識を深める！



人権作文を
発表した中学生

大会には、町同和教育協議会員、地域推進員、社会教育関係団体役員など百余名が参加し、開会行事で主催者の中元町長が「米国視察のさい、同国の人種差別に対し、日本は同じ人間同士の人権意識を思いつく時、日本国民の人権意識の低さを感じた。」と、今日ご出席の皆さんは、平和な理念のもと、同和問題の早期な解決に向けて、物心両面にわたり、「住みよい町づくり」の為に、ご尽力いただきたい」と、あいさつ。

休憩のあと、シンポジウムが行われ、「全ての町民が同和問題の解決を生活課題として取り組むにはどうすればよいか。」のテーマにそって、学校教育、社会教育、地域の立場から提言がなされた。

学校教育の立場から、私たちの身のまわりには、部落差別のほか、性別、身体、容姿、学歴など、いろいろな差別が存在している。

差別とは、基本的な人権（自由権、平等権、生存権）の侵害だと述べ、学校の事例をもとに、仲間意識の育成に努めていると強調、弱者の立場に立つて物事を考える、学校、家庭、地域の教育方向上の必要性を、課題として、古い因習を改め、学習の歩みを止めないでほしい」と提言。

社会教育の立場からは、同和問題は特別に変わったことをするのではない、人間らしさの回復である。寝た子を起すことについては、寝た子を起さず、その時にいかに正しく教育するかが大切と述べ、今後の学習活動では、地区懇のマンネリ化打破、各種団体での取り組み、行政職員との連携、PTAの部制等々、継続的な学習方法、内容の創造について提言。

地域（自治公民館）の立場からは、私の同和問題の出合いと、青年団活動を通して交流をはかったこと、農協職員当時は、組合員訪問先を自分から進んで対象地域を担当し、人間関係を深めることによつて個々の信頼が芽生えたと体験談を述べ、自治公民館主事として各種行事で交流をはかり、地区懇では、企画から人集め等、積極的に取り組んできた内容について提言。

提言者の発表が終わると、出席者から、「同和教育が浸透しつつある」、「学校教育では教えるだけでなく、熱意をもつて取り組まねば変容できない」と等の意見が出され、認識を深め合った。

午後は、学校教職員、行政職員も全員参加して大会が盛り上がり、中学生の人権作文発表が行われた。

○「立派に生きている人々を見て」

伊方中一年 松田真子
伊方中二年 門田智代
○「やさしく、幸せな気持ちで」

町見中二年 野田晋吾
町見中三年 森元奈緒



の四名の発表があり、中学生らしく堂々と純真な気持ちで表現されており、参加者は、中学生の人権意識に教えられた感じだった。

講演には、県教育委員会同和教育課長の岡省吾先生をお招きし、「人権は世界を結ぶキーワード」と題して次のように話された。

日本人が無関心なものは、水と安全と人権だ。特に差別には鈍感で、日本は経済黒字国、人権赤字国では、これから国際的には認められない。部落差別を乗り越えてこそ、国際社会のリーダー的存在となる」と結ばれた。

シンポジウム
フォーラムとは

- 討論の一形式で
- 二人またはそれ以上の人が、同一問題の異なった面を示すように互々が意見を述べよう。
- 講師の補説のあと、参加者または司会者が質問し、講師がこれに回答するという方式で、お互いに話し合う。
- 講師は二人、これに司会者が加わる。

自らを高め、人と人を結ぶ生涯学習

- 自ら学習し生きがいを求める 一人一学習
- 心のふれあいを育成する 一人一活動
- 健康や体力の増進を図る 一人一スポーツ

〈伊方町生涯学習推進目標〉

毎月第2日曜日は「家庭の日」です

12月のテーマ

- 1年間を振り返って、今後のよりよい家庭づくりについて話し合おう。
- 冬休みの有意義な過ごし方について話し合おう。

第17回 伊方町文化祭

秋の祭典で文化の里づくり



笑顔がいっぱい
バザー会場



「ネコの手も借りた」バザー、おにぎりコーナー会場の奥方



売れ行き好評の物産展



「文化活動の成果を発表し、町民のふれあいの場を通して文化の輪を広げよう。」と十一月一日・三日の両日、中央公民館と町見公民館・町見体育館を主会場に、第十七回伊方町文化祭が盛大に行われました。

両会場では、丹精のこもった盛りだくさんの作品が展示され、会場を訪れた人達は作品の出来映に関心していました。又、三日の午後からは、芸能発表「ふるさと大会」も催され、二日間で三千人余りの人が両会場を訪れ、文化の秋を満喫していました。



色香漂う菊花展



俳句、短歌、川柳の展示も



学級の手芸で上手に出来上がったビンドール



小・中学校作品展



接写、風景、人物ありの写真展



「お手前拝見」茶道コーナー



婦人パワーで作品や即売品の山くらしの工夫展

容量当りクイズ

第十七回伊方町文化祭のひょうたん展示会場で行われた「ひょうたん容量当てクイズ」にご協力下さいました。ありがとうございます。

(答) 五升五合と五升六合、又は10升

○賞品は、ひょうたんです。投票者三百三人の中から次の方が当選しました。

仁田之浜 米沢大輔

- ひょうたん**
- 仁田之浜 徳江たかし
 - 河内 中元清吉
 - 淡浦 藤堂加代子
 - 川永田 中田幸大
 - 川永田 守田 守
 - 川永田 木下貫一
 - 阿部嘉明 松下恵美
 - 泉口みなる 阿部嘉明
 - 見川口実一
- 伊方愛瓢会
会長 松田亀久雄

お 札

去る11月3日の文化祭当日、「乳ガン検診車購入全国キャンペーン」の募金をお願いしましたところ、多額のご寄附をいただきました。紙上をお借りして、厚くお礼申し上げます。

J A伊方婦人部・J A町見婦人部
伊方婦人部会・町見婦人部会

起源のナゾ 28

おでん(御田)とデカンシヨ節

おでんは、田楽から変化したものである。すなわち田楽の下を略して、おでんとした。

コンニャクを田楽と同じようにして焼いたものや、あるいは煮込んだものをおでんとよび、やがて、ダイコン、イモ、ちくわ、焼き豆腐などの煮込みおでんに発達したのは、江戸も半ば過ぎた安永(一七七一〜一八〇)以後だったらしい。

当時から、主に屋台店で売られるようになった。安直料理であった。

関西で煮込みおでんのことを「関東だき」というところからみると、もとは関東で発達したのかもしれない。



光文書院
「起源のナゾ」より

ふるさと大会 (芸能発表)も盛大に



会場を沸かせた
婦人会役員のおどり



ロマン漂うマドロス姿



傘でかくした女の心



バット咲いた
扇の花も艶やかに



いかたの玉三郎も出演!



京人形、菊づくしを踊る
かわいい、チビッコ

第五回全国健康福祉祭やまなし大会 ペタンクの部に出場して

伊方町老連会長 菊池 芳勝



ねんりんピック山梨大会
で敢闘賞を受賞した
川水田老人クの選手

武田信玄生誕の地で常陸宮御夫妻をお迎えしての、ねんりんピック山梨大会は、「健康やかに、伸びやかに、晴れやかに」をテーマに、ふれあいと活力ある長寿社会づくりを目指し、スポーツ、福祉、文化など様々なイベントが催された。「山があっても山梨県と言わず、山がなくても山梨県と言わず」と、山梨県から、幼少のころ聞いたことがある。山高く、谷深く、そして、寒い所と聞いていた山梨、北富士を眺め雲一つない日本晴れの好天候に恵まれた五日間であった。特に到着した翌朝

は、目の前に富士山を眺めての朝食は何とも言えない景色で素晴らしい。その荘厳さに思わず合掌した。南アルプスの雪山や八ヶ岳連峰の山々を眺めて、宿より一時間余りの所にある三珠町農村広場競技場へと向った。昨年九月、県大会に於て県代表の出場権を得ていたのです。代表の報を受けた時は、全夢のようでもオリンピックにでも出場するような心境でありました。出場する限りは、必勝を目指し毎日練習を行い、町民の皆さんのご期待に添うべく出発しました。特に老いなる選手を健康を心配していたが、四人共元気で全日程を終えたことを何よりの喜びと感えています。大会は、全国から六十四チームが出場し、十六コートで熱戦が行われました。大会の結果は、二勝一敗で予選リーグを通過し、決勝トーナメント戦に出場したが、健闘むなしく敗れたものの幸い敢闘賞を受賞し満足しています。大会出場に当り、町当局始め、地元川水田の皆様、各種団体有志の御援助、御声援、御芳志に対し、厚く御礼申し上げます。高年齢に与えられた、二度とないこの様な機会に巡り合っ

とが出来たことを出場者一同生涯の思い出として心に秘めて余生をより健康で楽しく過ごしたいと思えます。申し遅れましたが、この度の山梨大会出場も含め、四電ビクターズハウス館長、福岡滋之様(県ペタンク連盟会長)の御尽力により、今や愛媛県のペタンクの先進地となりました。老いも、若きも共に楽しめる親しみやすいスポーツとして、今後の発展を願ってやみません。最後に、三珠競技会場で選手に対し、限りの厚く迎とボランティア活動に厚く御礼申し上げます。

水ヶ浦小に栄冠 四年ぶり二度目

第十八回町小学校サッカー大会

十一月十日、伊方小学校において第十八回町小学校サッカー大会が行われた。試合は、五チームの優勝リーグで予選が行われ、決勝戦では予選を無失点で勝ち上がった水ヶ浦小と大型チームの伊方小の対戦となり、総合力に優る水ヶ浦小が粘る伊方小を接戦の末、一対〇と振り切り四年ぶり二度目の優勝をおさめた。

○予選リーグ
伊方 6-0 豊之浦
九町 0-0 二見
水ヶ浦 6-0 豊之浦
伊方 4-1 九町
水ヶ浦 6-0 二見

○予選リーグの勝敗
水ヶ浦二勝、伊方二勝、九町一分一敗、二見一分一敗、豊之浦二敗

○三位決定戦
九町 3-0 二見

○決勝戦
水ヶ浦 1-0 伊方



伊方体協一部昇格

佐田岬メロディー駅伝競走大会

昨年のこの大会において、伊方体協が二部で3位の入賞を取り、今大会は一部昇格しての出場となりました。

本町の通過予定時間は、4区中継点(九町越公園前)11時20分、5区中継点(伊方大川橋)11時45分頃に選手が通過しますので、沿道での声援をお願いします。

尚、ドライバーの皆さんは、選手への安全配慮をお願いします。

とき/平成4年11月29日(日)
コース/三崎~八幡浜間(40.197km)

お国だより 直通便

“お亥の子さん”



だり、夜半まで年少の子どもたちをいかに楽しませるか、亥の子大将の手腕にかかっていた。このようなやり方が、祖父から父へ、そして息子たちへと連綿と引き継がれているのである。ところで、こういった行事の主役は男の子である。伝統行事の一つ一つが農業後継者を育てるといふ大きな役割を担ってきた。

しかし、過疎化と子ども減少で男女を問わなくなった亥の子餅を食べる行事で、万病を除く呪いとも、また猪は多産であるから子孫繁昌を祝うためともいふ。

今年結婚した家では「初亥の子」祝いといって、亥の子餅を配ったり祝宴をひらき、村の青年が亥の子歌を歌い、亥の子石をついて祝っている。田舎ほど、伝統がそのまま重んじられ、農村社会の絆の強さがここにも感じられる。これからの地域社会を支える子どもたちに、堂々と表舞台に立てるように、いろいろな体験をさせたいものです。

生涯学習のあすを拓く ①

「今日も」をめざして ひとりスポーツ

今回は、伊方町のランナー宮脇良元さん(初、漢音)を紹介いたします。宮脇さんは、先日砥部の県総合運動公園で行われた、92愛媛県スポーツ祭において、八百メートル走の部に出場し、自己ベストの2分17秒2の記録で見事一位に入賞しました。

「四十歳を区切り体力づくりをしよう」と思い、走り始めました。距離が長くなればなるほどしんどいですが、走り終えた後に、また次もやるぞという気持ちで湧いてきます。それほど、仲間どうしのふれ合いなども楽しみもどんどん広がってききました。

伊方体協に所属しており、十四名の仲間がいます。日頃は自主練習で、5km・15km走っています。11月29日のメロディー駅伝大会を皮切りに、来年度の三月まで各種大会に出場します。走り続けること、体の調子がとても良く、健康を実感します。生涯、走れる限りは続けたいと思えます。よかったです。一緒に走りませんか。

走ることは、運動の基本です。また走ることで、人々のつながりが出来たり、「なにそつ」の伊方っ子根性も生まれます。生活の中に、マイペースのランニングをとり入れてみてはどうでしょうか。



ランニングで健康・体力づくりを目指す宮脇良元さん

口碑と立ちばなし ③

(川永田)

畜産功勞 高月翁頌徳碑



高月翁頌徳碑が、川永田と中浦の間の西ヶ崎にある。通称「兵隊さん」の東隣に建てられている。

高月翁は、父宇太郎の長男として明治十六年(一八八三)川永田に生まれた。

大正三年、伊方村議會議員を五期つとめられ、昭和十年には助役として村政に携わり、経済更生指定村となり、数々の業績をあげられるなど、村政に尽くした。また、伊方信用組合監事、伊方製糸組理事に就任。戦後は、選挙管理委員長、家裁調停委員にも選ばれた。

特に、農村振興策として畜産の奨励、三崎牛の資質改良、優秀な種牛の育成と牛市場の開設など献身的な活躍と発展にも力をこめていた。

大正六年から西宇和郡畜産組合理事を三三年間つとめられ、畜産功勞者として、また、自治功勞者としても県知事表彰を受けた。

高月翁頌徳碑の碑文

「高月初市翁資性温厚篤実多年村政將亦各種産業団体に参画志其向上発展に努むるに必然性を認めるや卒先その改善振興に盡言功績偉大なる者在茲に其徳功を顕彰す」

昭和二年 翁生

高月翁の生涯は、まさしく村おこし町づくりの礎となられた方である。

とくに、翁は昭和三八年(一九六三)八十歳の夭折を全うされた方である。

図書室 だより



九月から、学校週五日制に伴い第二土曜日は午前中も開室することになり、九月十二日、一回目がスタートしました。しかし、予想していた程の利用者はありませんでした。この機会にこそ、一人で多くの子ども達が、本好きになり、読書の楽しさをおぼえてほしいものです。

今月は、さまざまなジャンルから、紹介して見ましよう。

○宮沢賢治の童話全集

	午前	午後	計
小学生	14	11	25
小中学生	2	0	2
高校生	1	0	1
一般	12	7	19
計	29	18	47

一人でも多くの方が、図書室の本と仲よくなつてもらいたいです。

12月の行事予定

- 12月6日 ふるさとまつり(向)
- 12月17日 町青少年補導会連絡会(中公)
- 12月中旬 社教・公運審合同会議(中公)
- 12月中旬 文化財保護審議会(中公)
- 12月中旬 体育指導委員会(中公)
- 12月28日 御用納め



みんなでひろげよう明るい未来!!

11月11日から12月10日までは
「差別をなくする強調月間」
です。

愛媛県では、同和問題解決のため、「差別をなくする強調月間」を設定し、県民一人ひとりに人権意識の高揚を図り、お互いの人権を尊重する実践行動を定着化し、差別のない明るい社会を実現していこうとするものです。

短歌クラブ

- もどかしき想ひたくすに無情なる風がそらぬ袖にしきゆく 宇都宮すみ
- 吉ふべきか言はざるべきか定まらぬ心古小野菊花びら 梶谷千代子
- 生ひ茂る草に圓まれし里の暮れば愛さず片づくす 上野富子
- 吉野や里古墳に土の香の染みて跡生時代を憶ふ展示館 梶田ミヨ子
- 本間近「秋川あらし」の暮深く紅色にしじ長浜大橋 武田峰生子
- 東京は秋西連日降るとよに愛媛の雲裡に日暮西よふ 岡山綱子
- 龜さん何処へ道の真中のろろと首をひっこめ手足をかくす 是沢美那恵
- 登り終へず等も降りし夜静か枕にひびく鼓動を聞きあつ 田中朝子
- 「夢てはと」 綴べた呟きて帰る孫町郡県道通千健康作文 柴池朱見子

'92. 12月

くらしのカレンダー

■……保 健 ★……衛 生 ○……そ の 他

平成5年1月						
日	月	火	水	木	金	土
					①	2
③	4	5	6	7	8	⑨
⑩	11	12	13	14	⑮	16
⑰	18	19	20	21	22	⑳
㉑	25	26	27	28	29	30
㉒						

月日(曜)	行 事	月日(曜)	行 事
12月 1(火)	■三種混合予防接種(九町診療所 13:30~14:00) ○模擬火災訓練	17(木)	■乳児健診(保健センター 13:00~14:30)
2(水)	■インフルエンザ予防接種②(有寿米保・小、豊之浦保・小 13:30~14:30) ○心配ごと相談(町民会館 13:00~17:00)	18(金)	■リハビリ教室(保健センター 13:00~15:30) ★不用大回日(役場、町見支所までお連れください) ○給食サービス(独居老人、二見公民館)
3(木)	■訪問診査④(川永田、豊之浦 9:00~11:00) ■インフルエンザ予防接種②(町見中、二見小、加周保 13:30~15:00)	19(土)	■母子健康手帳交付(保健センター 9:00~11:00)
4(金)	■三種混合予防接種(保健センター 13:30~14:30)	20(日)	
5(土)	■母子健康手帳交付(保健センター 9:00~11:00) ■母親学級⑤(保健センター 13:00~15:00)	21(月)	■オレンジ会(オレンジハウス 9:30~14:00) ○税の徴収(向公民館 9:30~12:00)
6(日)		22(火)	■九町リハビリ教室(ワークいかた 13:30~15:30) ○税の徴収(大成老人憩の家 9:30~12:00) (鳥津集会所 13:00~15:00)
7(月)	■インフルエンザ予防接種②(水ヶ浦小、大浜保 13:30~14:30)	23(水)	天皇誕生日
8(火)	■リハビリ教室(保健センター 13:00~15:30)	24(木)	○税の徴収(二見公民館 9:30~12:00) (田之浦集会所 13:00~15:00)
9(水)	■1歳6ヶ月児健診(保健センター 13:30~14:30)	25(金)	○給食サービス(独居老人、町民会館) ○税の徴収(豊之浦集会所 9:30~15:00)
10(木)	■栄養学級(鳥津集会所 9:00~13:00) ■訪問診査(川永田 13:30~15:00)	26(土)	役場土曜閉庁日 *役場が休みになります。 住民票や戸籍などが必要な方は、金曜日までにおこしください。
11(金)	■母親学級⑥(保健センター 13:00~16:00) ■リハビリ訪問	27(日)	
12(土)	役場土曜閉庁日 *役場が休みになります。 住民票や戸籍などが必要な方は、金曜日までにおこしください。	28(月)	御用納 *平成5年1月3日まで、役場の窓口業務は休みます。
13(日)		29(火)	
14(月)	■インフルエンザ予防接種(九町診療所 13:30~14:00)	30(水)	
15(火)	○人権相談(町民会館 10:00~15:00)	31(木)	
16(水)	■あじさいの会(保健センター 13:00~15:30) ■インフルエンザ予防接種(保健センター 13:30~14:00) ○心配ごと相談(町見公民館 13:00~17:00) *弁護士さんが相談に応じます。	1月 1(金)	



母と子のふれあい教室



子供達は毎日の遊びの中で
心と身体を育てています。

伊方町では、年間80~90名の赤ちゃんが生まれています。
核家族化、少子化の中で子供をとりまく環境も変化しており、育児に不安を持つお母さんも増えています。

そこで、昨年度より、心身ともに健やかな子供の成長を願って「母と子のふれあい教室」を始めました。ここでは育児不安を解消したり、親子遊びを通して母と子のふれあいを深めたり、育児について互いに学びあっています。

育児に不安をもっている方、近くにお友達のいない方、お子さんと一緒に参加して楽しく遊びませんか。

1) 実施回数 年6回
2) 場 所 保健センター他
3) 対 象 育児に不安を持っている方
及び 希望者
(保育所入所前の幼児、お母さん)
4) 内 容 / 親子あそび 育児相談 等

*心理判定員、保母、保健婦もお手伝いします。

参加を希望される方は
保健センターまでご連絡ください。